

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年10月6日 (2011.10.6)

【公開番号】特開2010-106178(P2010-106178A)

【公開日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2010-019

【出願番号】特願2008-281195(P2008-281195)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/14 (2006.01)

C 0 8 K 3/20 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 123/16 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/14

C 0 8 K 3/20

C 0 8 L 23/26

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 123/16

B 3 2 B 27/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月23日 (2011.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 0 3 】

プロピレン系重合体 (A) のエチレン単位含有量が 20 % を超える比較例 1 の水性分散体では、プラスチック成形体に対する密着性が低く、耐水性も低かった。

プロピレン系重合体 (A) のエチレン単位含有量が 11 % 未満の比較例 2 の水性分散体では、プラスチック成形体に対する密着性が低く、耐水性も低かった。

プロピレン系重合体 (A) の結晶化度が 16 % を超える比較例 3 の水性分散体では、プラスチック成形体に対する密着性が低かった。

プロピレン系重合体 (A) の結晶化度が 8 % 未満の比較例 4 の水性分散体では、皮膜の耐水性 が低かった。

プロピレン系重合体 (A) の質量平均分子量が 15 万 未満 の比較例 5 の水性分散体では、皮膜の耐水性 が低かった。

プロピレン系重合体 (A) の結晶化度が 25 万 を超える 比較例 6 の水性分散体では、プラスチック成形体に対する密着性が低かった。

プロピレン系重合体 (A) が非メタロセン系触媒を用いて得た重合体である比較例 7 の水性分散体では、プラスチック成形体に対する密着性が低く、耐水性も低かった。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 0 5 】

酸変性オレフィン系重合体（Ｂ）の添加量が５質量部未満の比較例１６では、水性分散体が得られなかった。

酸変性オレフィン系重合体（Ｂ）の添加量が２．５質量部を超える比較例１７の水性分散体では、プラスチック成形体に対する密着性が低く、耐水性も低かった。

界面活性剤（Ｃ）の添加量が１質量部未満の比較例１８では、水性分散体が得られなかった。

界面活性剤（Ｃ）の添加量が１．０質量部を超える比較例１９の水性分散体では、プラスチック成形体に対する密着性が低く、耐水性も低かった。